



～枕崎市教育委員会だより～

TEAMまくらざき

発行 枕崎市教育委員会
枕崎市中央町 184 番地
TEL 0993-72-0170
FAX 0993-72-0677

巻頭言

宿 題

枕崎市教育委員会 教育長 木之下 浩一

今夏、東京へ行き、電車に乗る機会があった。夏休みのせいかな、電車内は家族連れが多く、子供たちの楽しそうな声があちこちから聞こえてきた。

そんな中、「あなた、宿題は終わったの？夏休みもあと10日ちょっとで終わるよ。大丈夫なの？」と小学校高学年と思われる子供に母親が心配そうに確かめていた。子供は、「え？夏休みもうそれだけしか残っていないの。ショックだな。読書感想文と絵がまだだし、日記も 7 月までしか書いてない。あと、自由研究が半分と・・・。」そんな親子の会話を聞いている私が心配になったのも束の間、母親が間髪を入れず「もう少しで宿題が終わるから大丈夫って言ったじゃない。だから、安心して旅行に連れてきたのよ・・・」と続けた。

子供は「夏休みが短いんだよなあ。宿題終わるかなあ」と、つぶやいている。母親が「夏休みが短いじゃなくて、いつも切羽詰まってからしか取り組まないあなたが悪いんだからね。いつも言ってるじゃない」と、我が子の日頃の姿勢を注意していた。

鹿児島とは違い、どうやら夏休みが短い学校の子供のようだ。それならば、「早めに宿題に取り組めばよかったのに」と、私も母親と同じ気持ちになる。しかし、この母親の言葉は、実は耳が痛くもあり、懐かしくもあった。私も学校に通っている頃は、この子供と同じようにぎりぎりにならないと物事に取り組まないタイプだった。毎年 8 月末に、いつも母親から厳しく注意されていたことを思い出す。ついには、「そんな、行き当たりばったりなことをしていると、大人になったら他人からの信頼をなくすよ。苦しむのは自分だからね。」と愛想を尽かされる始末だった。

人は、誰も日常生活や仕事で、やらなければならないと分かっているのに、「もう少し時間がある、まだ大丈夫」と、自分に都合のいい言い訳をして、手を付けまいまにになってしまうことがある。

間違いなく人間には切羽詰まらないと行動を起こせない一面がある。また、「窮(きゅう)すれば通ず」といわれるように、追い詰められてぎりぎりになって、はじめて決心がつき、思いもよらない良いアイデアが浮かんできくこともある。よって、その時になったらそれ相応の態勢を整え、対応ができるという考え方も場数の豊富さから導かれる処世術かもしれない。しかし、「窮すれば濫(らん)す」ということもまた然りである。人は行き詰まってどうにもなくなると、大抵、冷静さを欠いた対応となり狼狽し、多くの判断ミスを招いてしまう。

そのような事態を招かないためには、窮しても慌てず、冷静さを保つことが必要になるが、好ましいのは結局、本当に窮する場面が目前に迫らないように、早いうちから今が土俵際だと自分に言い聞かせ、行動に移すことではないだろうか。そのような意識がなければ、状況は一向に好転せず、気がつけば既に手が付けられない状態になっている可能性も否定はできない。ぎりぎりになって、どうしようもならない状態に陥る前に、いかに自分を鼓舞し、モチベーションを高めていくか。それが物事を成し遂げるための大きな推進力になる。

気がつけばもう8月末である。電車の中のあの子供は夏休みの宿題を済ませて学校に行けただろうか。言葉も交わしてはいないが、私の過去と重なるだけに親近感がわく。先行き不透明な時代を担う若者として自己啓発という名の人生の宿題は早めに終わらせ、責任をもって事をなすことができる大人になってほしいと心から願う。

9月の行事予定

日 曜	行 事
1 月	小・中学校始業式・2学期給食開始 図書館休館日
2 火	定例教育委員会
3 水	
4 木	市学校音楽祭運営委員会
5 金	市理科作品審査会
6 土	
7 日	
8 月	図書館休館日 高齢者学級合同学習会
9 火	第3回事務職員研修会・教育支援委員会②
10 水	地区館連絡会⑥
11 木	市作文審査会
12 金	小学校体育主任研修会②
13 土	
14 日	市民会館休館日
15 月	(祝)敬老の日
16 火	図書館休館日 市教務主任等研修会①
17 水	南薩地区ステップアップ研修 二十歳のつどい実行委員会①
18 木	「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業(東郷学園義務教育学校) 市フレッシュ研修(初任校研修)
19 金	市民あいさつ運動
20 土	青少年育成の日 第76回県民スポーツ大会・総合開会式
21 日	中学校体育大会 家庭の日・市民会館休館日
22 月	図書館休館日 学校訪問(立神小)
23 火	秋分の日 市マスゲーム講習会
24 水	特別支援学級担任等研修会②
25 木	図書館 館内整理日 市生徒指導主任研修会②・いじめ問題専門委員会
26 金	市校長研修会④
27 土	
28 日	
29 月	図書館休館日
30 火	

第 70 回枕崎市少年野球大会

台風の影響で天気心配されましたが、 7 月 26 日(土)から 27 日(日)の 2 日間にわたり第 70 回枕崎市少年野球大会が無事開催されました。市内 3 校区から単位子ども会を中心に結成された 8 チームが大会に出場し、熱戦が繰り広げられました。

出場した子供たちは、地域の方々の熱い声援を受けながら、一生懸命プレーしていました。

優勝：別府混成チーム 準優勝：大堀・下野原チーム

3 位：俵積田・中原チーム 枕崎西チーム



少年野球大会の様子と優勝した別府混成チーム

夏教育相談会

夏の教育相談会を市民会館にて 8 月 4 日～7 日の期間で実施し、44 組の保護者、先生方が参加されました。この教育相談会は、主に学びの場の変更について、専門家に相談する機会となります。本市は、2 人の専門家と交互に 20 分ずつ相談することができるため、多方面からの専門的な考えや意見を聞き、判断する際の参考とすることができます。また、この教育相談会を一つの機会として、各家庭における今後の教育方針や学びの場の変更についての示唆を得る参加者も多いようです。この学びの場の変更については、保護者の考えだけではなく、児童生徒本人の考えも大切となるため、家庭において、納得のいくまで話をすることが重要となります。

子供の移動経路・通学路等の安全推進会議

8 月 5 日 (火)、令和 7 年度第 1 回枕崎市子供の移動経路通学路等の安全推進会議が行われました。この会議は、平成 24 年に登下校中の交通事故が多発したことを受けて始まりました。各小・中学校、幼稚園・保育園から出された危険箇所について、南薩地域振興局、市長部局等の道路管理者が合同で点検し、子供たちの安全を第一に考え、検討しました。今後、子供たちが安心して登下校及び校区内の移動ができるように、関係機関と連携を図り、危険箇所の改善を図っていきます。



教育委員会各課からのお知らせやお願い

第34回かつお釣り体験アドベンチャー

今年度で 34 回目を迎えるかつお釣り体験アドベンチャーは、沖縄方面に台風が接近したことによる高波の影響で実際にかつお釣りの体験を行う本研修が中止になりました。

また、かつお料理を作る予定の事後研修も突然発生した台風のために中止となってしまいました。

自然相手の行事ではありますが参加を楽しみにしていた 9 人の中学生は、残念であったと思います。来年度の参加を待っています。



【事前研修の様子】

市授業力向上ブラッシュアップセミナー・市教育講演会

7 月 31 日 (木) に授業力向上ブラッシュアップセミナーと市教育講演会を開催いたしました。

授業力向上ブラッシュアップセミナーでは、昨年度の派遣事業（県外における研究会参加や研究校視察）に参加した 2 人の教員がどのような事を学び、学んだことをどのように授業改善に生かしているかなどについて報告を行いました。

また、教育講演会では、鹿児島国際大学の辻慎一郎先生を講師としてお招きし、「令和の日本型教育を各学校でどのように実現するか？」というテーマで個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をめざした授業改善の具体的なアプローチについて学ぶことができました。

この会での学びが、それぞれの先生の授業改善に生かされ、更なる学力向上につながることを願っています。



～シリーズ特別支援教育～「発達障害について」

発達障害とは、広汎性発達障害（自閉症、アスペルガー症候群など）、学習障害、注意欠陥多動性障害などの障害を指します（発達障害者支援法より）。他、これに類推する障害もあり、ほとんどが 18 歳までに出現します。

これらの障害は、特別支援学級に入ることでできる障害ではありません。しかし、学級において日常生活や学習において支援を必要とする場合が多く、困っている方が多く存在します。たとえ診断が無くても、「こんなことを困っている」ということがあれば、学校に相談してください。場合によっては、合理的配慮の提供や通級指導教室の利用が可能となります。